

宮古市営建設工事請負契約書の例文

印
紙

1 工 事 名

2 工 事 場 所

3 工 期

年 月 日 着工
年 月 日 完成

4 工事を施工しない日

工事を施工しない時間帯

〔工事を施工しない日又は工事を施工しない時間帯を定めた場合は契約書に記載する。〕

5 請負代金 金 円

(うち取引に係る消費税額

及び地方消費税額 金 円)

〔 () の部分は、受注者が課税業者である場合に使用する。〕

6 契約保証金 金 円

7 建設発生土の搬出先等

(1) 搬出予定あり (建設発生土の搬出先については仕様書に定めるとおり。なお、この工事が資源の有効な利用の促進に関する法律 (平成3年法律第48号) の規定により再生資源利用促進計画の作成を要する工事である場合は、受注者は、工事の施工前に発注者に再生資源利用促進計画を提出し、その内容を説明しなければならず、工事の完成後に発注者から請求があったときは、その実施状況を発注者に報告しなければならない。)

(2) 搬出予定なし

〔該当する項目に丸印を記載する。〕

8 解体工事に要する費用等 別紙1のとおり

〔建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律 (平成12年法律第104号) の適用がある場合に使用する。〕

上記の工事について、発注者と受注者は、各々の対等な立場における合意に基づいて、別記条項によって公正な請負契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行するものとする。

また、受注者が共同企業体を結成している場合には、受注者は、別紙共同企業体協定書により契約書記載の工事を共同連帯して請け負う。

本契約締結の証として本書2通を作成し、当事者記名押印の上、各自1通保有する。

年 月 日

発注者 宮古市
代表者 宮古市長 山本正徳 印

受注者 住 所
氏 名 印

〔受注者が共同企業体を結成している場合においては、受注者の住所及び氏名の欄には、共同企業体の名称並びに共同企業体の代表者及びその他の構成員の住所及び氏名を記入する。〕